

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●有馬記念はイクイノックスが優勝

12月25日(日)に行われた有馬記念(G I)では、1番人気のイクイノックス(牡3歳/美浦・木村哲也厩舎)が優勝、天皇賞(秋)に続き、父キタサンブラックとの“親子制覇”を果たしました。

●中山大障害はニシノデイジーが優勝

12月24日(土)に行われた中山大障害(J・G I)では、障害重賞初挑戦のニシノデイジー(牡6歳/美浦・高木登厩舎)が優勝しました。鞍上の五十嵐雄祐騎手(美浦・田村康仁厩舎)はJRA史上第8位となるJRA障害通算151勝を達成。なお、この一戦が引退レースとなったオジュウチョウサンは6着でした。

●川田将雅騎手のJRA通算勝利数が単独10位となる

12月24日(土)の6回阪神7日・第2レースではサイレンスタイムが1着となり、同馬に騎乗した川田将雅騎手(栗東・フリー)はJRA通算1824勝をあげました。これは中館英二元騎手の1823勝を抜き、JRA史上単独第10位の記録となります。

●岩田望来騎手がJRA年間100勝を達成

12月24日(土)の6回阪神7日・第4レースではセオが1着となり、同馬に騎乗した岩田望来騎手(栗東・藤原英昭厩舎)は、本年7人目、自身にとっては初となるJRA年間100勝を達成しました。22歳6か月24日でのJRA年間100勝となり、これは武豊騎手の19歳8か月12日に次ぐ史上2番目の年少記録となります。

●石橋脩騎手がJRA通算1万2000回騎乗を達成

12月25日(日)の5回中山8日・第4レースでエプアンドフロウに騎乗した石橋脩騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上32人目、現役20人目となるJRA通算1万2000回騎乗を達成しました。

●伊藤圭三調教師が通算500勝、高柳大輔調教師は通算100勝を達成

12月25日(日)の5回中山8日・第2レースではタマモロックが1着となり、同馬を管理する伊藤圭三調教師(美浦)は、現役24人目となるJRA通算500勝(延べ6893頭目)を達成しました。当日の6回阪神8日・第5レースではエナジーロッドが1着となり、同馬を管理する高柳大輔調教師(栗東)は、現役152人目となるJRA通算100勝(延べ1226頭目)を達成しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ショウガタツプリが無敗の金沢2歳王者[各地の主要2歳重賞]

金沢ヤングチャンピオン(11月27日、金沢、1700^円)は、4～5番手から2周目3、4コーナー中間で先頭に立ったショウガタツプリ(牝、父エスポワールシチー)が4馬身差で楽勝、単勝1.2倍の圧倒的支持に応じてデビュー以来の連勝を7に伸ばしました。寒菊賞(12月13日、水沢、1600^円)は、後続を引き付けて逃げた3番人気のセイレーナ(牝、父インカンテーション)が、1番人気のアサップを2馬身半引き離して完勝。新設の西日本交流重賞、フォーマルハウト賞(12月18日、佐賀、1400^円、牝馬)は、3番手を進んだ2番人気の兵庫からの遠征馬イケノシイチャン(父エスポワールシチー)が4コーナー手前で抜け出し、初の重賞制覇を果たしています。

●メイショウハリオらが参戦、12月29日の東京大賞典(大井)

東京大賞典(G I、12月29日、大井、2000^円)は、同コース同距離の帝王賞の勝ち馬メイショウハリオが中心も混戦模様で、オープン特別2連勝中のウシュバテソーロが続き、やや調子下降気味の牝馬ショウナンナデシコ、サンライズホープ、ライトウォーリア(川崎)、3歳馬ノットゥルノまでが争覇圏内と考えられます。他にJRAからは芝のG III 2勝馬レッドガランが出走の予定です。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●2022年は3頭の日本調教馬が海外でG 1制覇

今年は3頭の日本調教馬が海外でG 1に優勝しました。まず大きな勲章を手にしたのがパンサラッサ(牡5歳、父ロードカナロア、栗東・矢作芳人厩舎)。3月のG 1ドバイターフ(北半球産馬4歳上・南半球産馬3歳上、芝1800^米)で吉田豊騎手を背に逃げると、最後は追い込んだ前年の覇者ロードノースと並んでゴール。同着でのG 1初制覇となりました。パンサラッサに続いたのがシャフリヤール(牡4歳、父ディーブインパクト、栗東・藤原英昭厩舎)。ドバイターフの1レース後に行われたG 1ドバイシーマクラシック(北半球産馬4歳上・南半球産馬3歳上、芝2410^米)にC.デムーロ騎手で出走したシャフリヤールは先行策から残り150^米付近で先頭に立つと、前年のG 1ブリーダーズCターフの勝ち馬ユビアーの追い上げをクビ差しのいで優勝。日本ダービー馬として初となる海外G 1制覇を果たしました。そして12月に吉報をもたらしてくれたのがG 1香港ヴァーズ(3歳上、芝2400^米)を制したウインマリリン(牝5歳、父スクリーンヒーロー、美浦・手塚貴久厩舎)。D.レーン騎手を背に最後の直線で抜群の末脚を披露して1馬身半差の快勝。G 1初制覇を海外で飾りました。